

# 神奈川の 部落史

2007年9月刊行

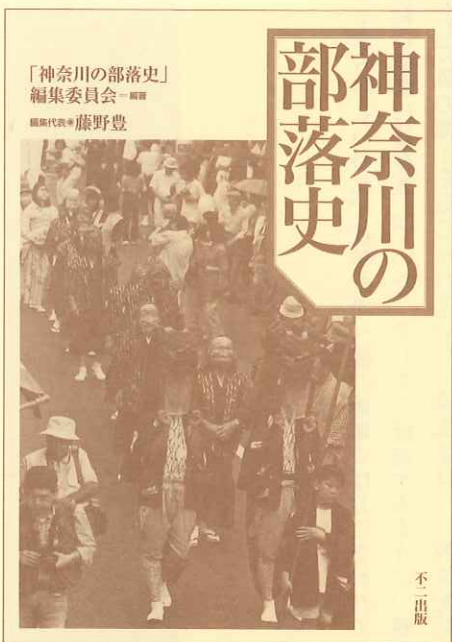
鎌倉・鶴岡八幡宮の長吏から、横浜開港による新たな被差別地区の形成、そして全国の部落差別反対運動に呼応した活動、戦時下の融和運動まで――近世の「助左衛門文書」や近代の融和運動の機関誌『青和』などの貴重な資料を駆使し、さらに新たな調査や聞き取りによって、中世から近現代までの神奈川の被差別部落に生きたひとびとの生活と差別とのたたかひの軌跡を初めて明らかにする。神奈川のみならず、全国に向けて新たな部落史像を提起する書！

「神奈川の部落史」編集委員会 編著  
編集代表 ● 藤野豊

A5判・総二三八頁・並製  
定価●本体一、八〇〇円十税

不二出版

〒113-0023 東京都文京区向丘1-2-12  
電話03(3812)4433 ファクシミリ03(3812)4464



## 『神奈川の部落史』目次

### 第1部 前近代

- 第一章 鎌倉・鶴岡八幡宮と長吏
- 第一節 鶴岡八幡宮例大祭における長吏
- 第二節 極楽寺の長吏
- 第三節 鶴岡八幡宮の放生会
- 第四節 中世都市鎌倉と極楽寺
- 第二章 戦国時代・近世初頭のかわた・皮作・長吏
- 第一節 後北条氏をはじめとする戦国大名と長吏集団
- 第二節 相模の長吏集団―その特徴と社会的地位
- 第三章 近世の身分制度と長吏・「非人」
- 第一節 近世身分制社会の特徴
- 第二節 近世被差別身分のありかたの特色

- 第四章 近世被差別身分の生業と役割
- 第一節 「職場」とは何か
- 第二節 さまざまな生業
- 第三節 「非人」と村・「非人」と長吏

- 第五章 近世後期の紛争の事例から
- 第一節 近世における「風俗」とその取り締まり
- 第二節 幕末期の身分間の争いの諸相
- 第三節 近代への展望

### 第2部 近現代

- 第六章 近代国家の成立と部落問題
- 第一節 横浜開港と被差別民
- 第二節 近代初期の被差別部落
- 第三節 部落改善運動の開始
- 第七章 神奈川県青和会の設立
- 第一節 全国水平社の創立と神奈川県の部落問題
- 第二節 神奈川県青和会の設立と活動
- 第三節 被差別部落の生活
- 第八章 アジア・太平洋戦争下の被差別部落と部落問題
- 第一節 昭和恐慌下の融和運動と被差別部落
- 第二節 戦時下の融和運動と被差別部落
- 第三節 戦時下における被差別部落の生活



という技術は古代に朝鮮半島から伝来したものとわれ、近年まで一部の地域ではおこなわれてきた。こうした皮なめしの技術をもつ者たちが二三世紀の鎌倉には存在していた。そして、後述するように、戦国期、後北条氏によって、極楽寺の長吏は、「皮作<sup>かわづくり</sup>」として革の細工を命じられていた。湯山学は、一四世紀始め、雅楽の楽器類は鎌倉で製作されていたことを指摘している(『鶴岡八幡宮の中世的世界』私家版、一九九五年)。雅楽で用いられる打楽器類の打面は動物の皮であるが、当然それらの革類も、鎌倉で生産されたものであろう。

都市鎌倉のケガレと極楽寺

このように、二三世紀の都市鎌倉において、前浜は単に鎌倉のはずれというだけでなく、「この世」と「あの世」の境界という性格をもった場所であった。そこは名もない者たちの遺体が埋葬される場であり、解体された動物の骨などが遺棄される場でもあった。牛馬の解体や皮なめしがおこなわれ、得られた革や骨を用いた楽器作りや細工などが、市内の工房で専門的な技術をもつ者たちによっておこなわれた。

このような前浜を管理・支配したのが律宗寺院極楽寺だったのである。また、極楽寺は、和賀江島の修築と管理をおこない、通行税の徴収もおこなっていたことに触れたが、由比ヶ浜南遺跡において二三世紀後半と考えられる地層で見出された建物の遺構は、礎石に長期間海の中にあつたとみられる貝殻の付着した硬質な安山岩が用いられていた。「海中にあつた可能性のある礎石」は、日本最古の築港遺跡である鎌倉の和賀江島で用いられた石を流用した可能性が想定され、貿易に関する管理業務のための建物の可能性が考えられている。前浜に対する極楽寺の管理・支配が、名目だけでなく実体をともなったものであつたことを示す遺構といえよう。

律宗の僧侶集団が鎌倉において活動拠点とした極楽寺という寺院は、「非人」集団を組織し、石工などの職人集団も支配下におき、「境界領域」という性格の濃い前浜を管理・支配し、港の管理もおこなつた。ケガレとい

注文カード

帖合・書店名

注文数

冊

不二出版

「神奈川の部落史」編集委員会・編纂

神奈川の部落史

定価●本体1、八〇〇円+税

ISBN978-4-8350-5560-2 C1021 ¥1800E

冊名

お電話番

日 月 年 注文

●弊社は注文制です。お近くの書店へご注文下さい。



# 神奈川の 部落史

「神奈川の部落史」  
編集委員会 編著

編集代表 ● 藤野豊

A5判・約二〇〇頁・並製  
予価●本体一、八〇〇円＋税

二〇〇七年九月刊行予定

鎌倉・鶴岡八幡宮の長吏から、横浜開港による新たな被差別地区の形成、

そして全国の部落差別反対運動に呼応した活動、戦時下の融和運動まで――

近世の「助左衛門文書」や近代の融和運動の機関誌『青和』などの貴重な資料を駆使し、

さらに新たな調査や聞き取りによって、中世から近現代までの

神奈川の被差別部落に生きたひとびとの生活と差別とのたたかひの軌跡を初めて明らかにする。

神奈川のみならず、全国に向けて新たな部落史像を提起する書！

## 『神奈川の部落史』目次

### 第1部 前近代

- 第1章 鎌倉・鶴岡八幡宮と長吏
  - 第1節 鶴岡八幡宮祭礼における長吏
  - 第2節 八幡宮とキヨメ役
  - 第3節 極楽寺と中世非人
- 第2章 戦国時代・近世初頭のかわた・皮作・長吏
  - 第1節 後北条氏をはじめとする戦国大名と皮作
  - 第2節 相模国の皮作集団 特徴と政策
- 第3章 近世の身分制度と小頭助左衛門
  - 第1節 概観
  - 第2節 弾左衛門体制を中心とした被差別身分の支配体制
  - 第3節 相模における助左衛門の位置
  - 第4節 「助左衛門文書」の意義
- 第4章 近世被差別身分の生業と役割
  - 第1節 「職場」とは何か
  - 第2節 さまざまな生業
  - 第3節 非人と長吏、村方
- 第5章 近世後期の紛争の事例から
  - 第1節 近世における「風俗」とその取締り
  - 第2節 幕末期の身分間の諸相
  - 第3節 近代への展望

### 第2部 近現代

- 第1章 近代国家の成立と部落問題
  - 第1節 横浜開港・明治維新と被差別部落
  - 第2節 部落改善運動の開始
- 第2章 神奈川県青和会の設立と被差別部落
  - 第1節 全国水平社創立と神奈川の被差別部落
  - 第2節 神奈川県青和会の設立とその活動
  - 第3節 被差別部落の生活
- 第3章 戦争の時代における融和運動と被差別部落
  - 第1節 昭和恐慌下の融和運動と被差別部落
  - 第2節 戦時下の融和運動と被差別部落
  - 第3節 戦時下における被差別部落の生活

●弊社は注文制です。お近くの書店へご注文下さい。

## 注文カード

帖合・書店名

注文数

冊

不二出版

「神奈川の部落史」編集委員会 編著

## 神奈川の部落史

予価●本体一、八〇〇円＋税

ISBN978-4-8350-5560-2 C1021 K1800E

お名前

お電話番号

注文 年 月 日